

2017年度 東京都23区支部大会開催

今年は、葛飾稲門会が支部長区で支部長区輪番制最後の年となった。永年の議論の末、来年からはブロック輪番制となる。2018年3月18日に東京都23区支部大会が開催された。品川稲門会からは16名が出席した。

第1部「講演会」は、本学OBの現静岡県知事の川勝平太氏が、大隈記念講堂において演題『富士山・稲穂・世界』で早稲田・日本を中心に日本史的・世界的視点で豊富な引用をもとに壮大なスケールでお話しされた。川勝知事は早稲田大学に1975年から94年まで勤務された。政治経済学部にて助手、講師、助教授を経て、90年4月に教授に昇任した。日本経済史を講義され、川勝ゼミのテーマは「日本と世界経済ー長期的・理論的・実証的接近ー」であった。日本を象徴する富士山と早稲田のシンボルでもある稲穂という言葉を引き合いに、この激動の世界で日本と早稲田がどのような使命を持ち、どのような役割を果たせるのか熱く語られた。

第2部「懇親会」は、会場をリーガロイヤル東京に移し、320名の参加者で執り行われた。小林弘和支部長より開会が宣言された。鎌田薫早稲田大学総長のご挨拶を述べられた。総長は今年11月で8年の任期を終え退任される。総長選挙を実施できることが素晴らしいことであり、未来に発展する鍵であると示してくださいました。島田陽一副総長の乾杯。アトラクションには応援部による指揮のもと、紺碧の空、早稲田の栄光を皆で歌った。校歌斉唱の後には、高田宜美2018年度支部長より今後の展望を伝えつつ中締めとなった。

H2理工 勝山宏則